

漢字情報処理システムの実用化について

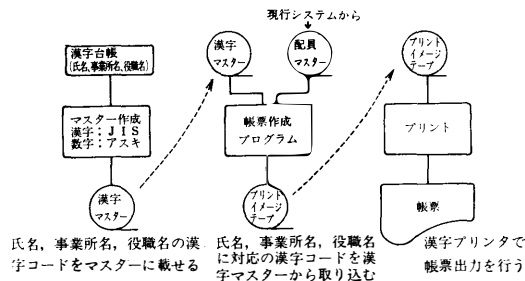
情報システム部

1 ま え が き

コンピュータによる情報処理の分野で日本語(漢字)情報処理への要求は古くから大きいものであったが、技術的・経済的理由により、この要求を満しえなかった。しかし最近の目ざましい技術革新は漢字情報処理の可能性を高めている。そこで当社においても、より質の高い情報処理をめざして、英数字、カナに加え漢字情報処理の研究を行なってきた。

2 研究の概要

漢字情報処理は、①データ処理(従来英数字、カナで入出力されていたデータを漢字で表記する)、②編集処理(文章の編集を行なう)、③言語処理(文法や言語の意味・内容にまで立ち入って処理する)の3処理に大別される。このうち漢字情報処理で最も基礎となる①のデータ処理について、人事関係業務を適用し、第1図流れ図にそって実証研究を行なった。



第1図 漢字情報処理の流れ図

3 適用結果

(1) 漢字入力結果

- a 総入力文字数 43,578字
 - b 入力不可文字数 2字(鋳, 暈)
 - c 旧字新字置替文字数 1字(蔭→蔭)
- 今回の文字パターンはJIS規定の6,349字

01*ヨウネウシステム No. 1	カチヨク	78-04425 9カキノミツ	本店 情報システム部 No. 250 課長	78-04425 酒井 信光
02*ヨウネウシステム No. 2	カチヨク	98-08182 コハ*フジ ススル	本店 情報システム部 No. 251 課長	98-08182 小林 晋
03*ヨウネウシステム No. 3	カチヨク	53-19042 カウイ モトイ	本店 情報システム部 No. 252 課長	53-19042 河合 基

(ひらがな等を含む)に限って準備したが、最大16,384字まで拡張可能である。このためb, cの対象となる文字はきわめて少なくなる。

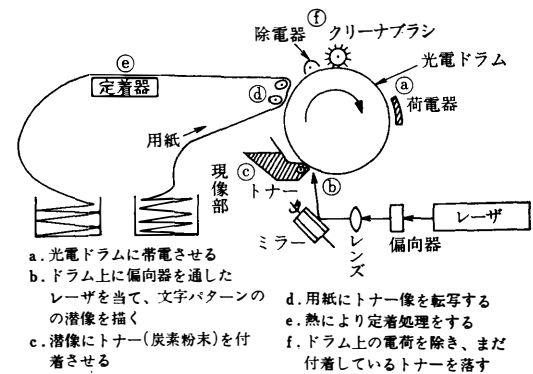
(2) 出力結果

漢字は明朝体でデザインされており、従来の英数字、カナだけで作られた帳票に比べると、あらゆる点で漢字出力帳票がすぐれていることが確認できた。次にその比較を行なう。

4 漢字プリンターの原理

漢字プリンターは活字ではなく、レーザ光によるノンインパクト方式(騒音が出ない)のプリンターで、印字速度(5,250行/分)が速いうえ、作表も同時に行なうことができる。

(1) 構造



第2図 漢字プリンターの構造

(2) 文字パターン

文字パターンは点(ドット)の集合で表わされ、それ等の点はさらにビットに対応づけられ、文字フォントとしてコントローラのメモリーに記憶されている。



1ドットは
 $= \frac{1}{240}$ インチ
 $\approx 0.1\text{mm}$

5 あとがき

本研究により漢字情報処理は実用的に十分適用できるとともに、アウトプットにおいては、英数字、カナだけのものに比べ格段の効果があることが実証できた。